

安全・安心な職場と健康経営

マテリアリティ設定の背景

ムラタの大切な価値観であるCS・ESの礎にあるのは「従業員の心身の健康」という認識のもと、安全・安心を包含した健康経営を推進するために、当マテリアリティを設定しました。

目指す姿

安全な職場環境で、従業員一人ひとりが自身のことを健康だと実感しながら、安心して働けていることを目指します。

安全衛生

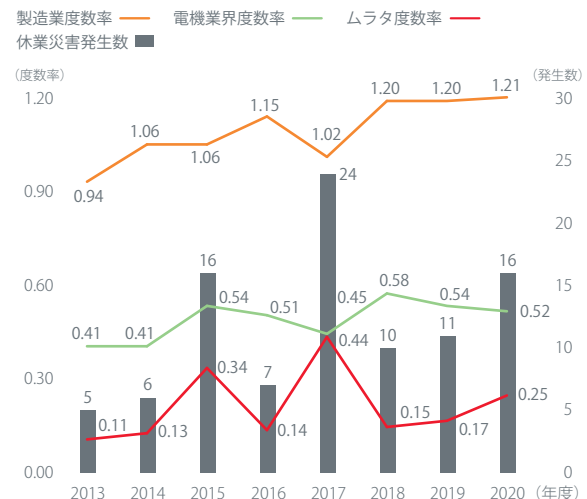
ムラタではCSR統括委員会の管下に健康安全推進委員会を設置しています。当委員会では、取締役常務執行役員を委員長とし、全社の安全衛生方針や健康経営プランの検討および、その実現に向けた目標設定を行っています。全社の健康・安全の目標に向けて、各事業所の取り組み計画や進捗について、事業所横断で審議・運営をしています。このような体制のもと、労災発生防止について積極的に取り組み続けた結果、労災度数率は製造業や電機業界と比較しても低い水準を維持しており、ここ数年は、重大災害ゼロを維持しております。

2020年度は、さらなる労災リスクの低減に向けて、発生した労災の分析をしました。その結果、全体の7割以上がリスクアセスメント評価での事前リスク抽出がなかったこと、および全体の原因の7割以上が、不安全行動となっていることが判明しました。この結果を受け、安全衛生マネジメントの改善と安全文化の構築を今後の課題とし、新たな取り組みを開始しました。具体的には、リスクアセスメント評価の有効性の改善を目的として、リスク抽出の網羅性を高める仕組みを国内外の全事業所へ展開し、労災の未然防止を図っていきます。このほか、健康経営アプローチや外部資源・IoTシステムを活用した安全管理手法の展開などによる、マネジメントの改善に取り組んでいきます。また、安全衛生教育体系の改善や次世代の安全衛生担当者の育成などによる、安全文化の構築にも取り組んでいきます。

このように、さまざまな角度から施策を展開していくことで、経営・管理職層が責務を負う「安全配

慮義務」と、従業員自身が担う「自己保健義務」との両輪による安全第一主義の職場環境と従業員の安全衛生リテラシーの向上を目指します。

労災度数率と休業災害発生数の推移



新型コロナウイルス感染症への対応

ムラタは2020年初頭の緊急時対応から、現在withコロナ期としての事業運営の段階に移行しています。長期戦という認識のもと、従業員の不安感と孤立感の緩和に重点をおき、ムラタの一員であるという安心を感じられる心身のケアを行っています。

漠然とした不安から従業員を守るには、新型コロナウイルス感染症に対する正しい情報とエビデンスの共有が有効です。従業員や協力会社の社員向けに産業医によるオンライン説明会を開催し、約3,000名が参加しました。資料は従業員の家族にも共有できるようにした上で、説明会の動画をeラーニング教材にし、従業員がいつでも学べる環境を整えました。また、保健師が定期的に最新の医学的知見を分かりやすくまとめ、社内イントラネットや社内報に掲載するとともに英語・中国語版も作成し、グローバルに展開しています。



産業医によるオンライン説明会資料

新型コロナウイルス感染症によって変わった職場環境に対応するため、2020年度には、従業員向け在宅勤務のノウハウ集や、管理職向けのコミュニケーションのあり方集を社内展開しました。2021年度は、相談対応の中でみられた従業員の変化や傾向を国内の健康管理室から収集し、最も効果的なラインケアのあり方を整理しました。これらのリアルな事例や手法を職場マネジメントに活かせるように教材にし、管理職に展開することでラインケアの強化を行っています。セルフケアでは、「職場での人間関係の構築が途上の従業員」が、最も新型コロナウイルス感染症による影響を受けやすいと仮定し、重点的に取り組みを行っています。一例として、在宅勤務率の高い事業所での新入社員向けセルフケア研修があります。研修では、ストレス対処法や一人で不安を抱え込まず、周囲に相談することの大切さを体得してもらうことを目的に、セルフケアの具体的な方法などを、グループワークを通じて学ぶ機会を設けました。

これらの取り組みによって、多くの職場でチームや会社への信頼感と一体感を持ち続けるようにしています。

健康経営

従業員の健康づくりに真摯に取り組むために策定した「ムラタ健康経営プラン」を、新型コロナウイルス感染症による環境変化を踏まえた内容に進化させました。「地に足の着いた健康経営」をコンセプトに、国内のムラタグループ11事業所の産業保健職、健康推進機能の事務スタッフ、健康保険組合、安全機能や人事機能といった多彩なメンバーで見直し議論をし、各機能からの視点をプランの中で統合していきました。定量データと日頃の健康管理業務を通じて把握した従業員の心身の実態情報をもとに、4つのプランを策定しました。

健康経営プラン内容

プラン1	健康経営を進める体制づくり 全従業員の体と心の健康実態を踏まえて、さまざまな機能が協働し、予防に努める
プラン2	データと従業員実態に即した健康施策の実施 睡眠改善・喫煙対策・運動・食生活
プラン3	ストレスマネジメントの強化 セルフケア・ラインケアの充実、ストレスチェックの運用改善
プラン4	ヘルスリテラシーの向上

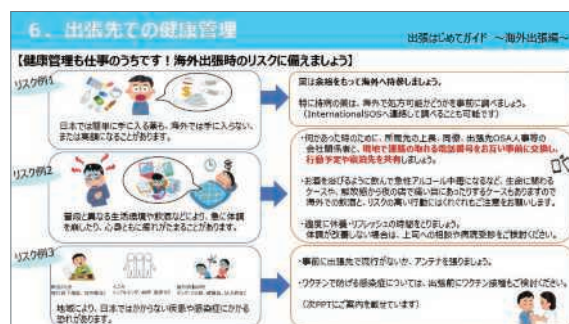


健康経営プラン 見直し議論の様子

海外出張・出向者への健康支援

グローバルにビジネスを展開するムラタでは、海外出張者や出向者が多くいます。海外で健康・安全・安心に生活できるように、2020年度から健康面でのフォロー体制を強化しました。たとえば海外長期出張者には、渡航前に産業医による健康状態の確認や、必要に応じて面談を実施しています。また海外出張での注意事項をまとめた「出張はじめてガイド～海外長期出張者編～」をイントラネットに掲載しています。

さらに海外出向者とその家族に対しては、出向前セミナーを実施しています。これは、海外生活で注意したい危機管理、健康管理、メンタルヘルスについて学ぶ機会として、グローバル人事機能と健康推進機能が協働して開催しています。2021年度は、日本との行き来が困難な海外出向者を対象に、保健師によるセルフケア研修を展開しています。現時点では、シンガポール・インド・ヨーロッパなどの拠点で実施しています。これらの取り組みによって、海外でも健康でいきいきと仕事ができる環境を整えています。



出張はじめてガイド